



京丹後市再生可能エネルギー 導入促進に関する基本的な方針

Human being, Water, Verdure
Kyotango-city 

～ 再生実現エネルギーの地域全面展開 ～
地域と人の“元気力”を育む京丹後の自然エネルギー

市民、事業者及び豊かなエネルギーを育む自然環境を地域固有の資源として捉え、地球環境の保全に貢献するとともに、地域資源を活用した豊かで自立した持続可能な地域社会の形成を図る目的で推進します。

【便益及び付加価値の地域循環】

売電収入・自然エネルギーの活用による地域活性化

【災害に強いまちづくり】

エネルギーの地域内創出、電力自給率の向上

【環境保全】

温室効果ガスの排出抑制

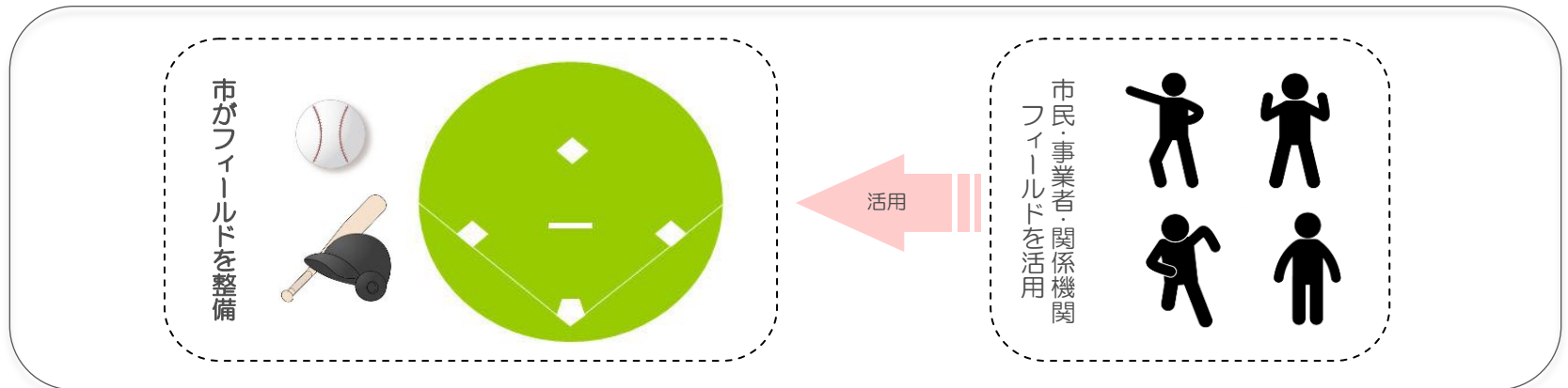
役割

京丹後市

市は、再生可能エネルギーの推進のための各種啓発・普及促進施策の実施、委員会等の設置、評価・調全体勢の構築、支援施策の展開等、必要な環境整備を行ないます。

市民、事業者及び関係機関

市民、事業者及び関係機関は、地域の経済循環と発展並びに持続可能性ある再生可能エネルギー事業を地域に提案し、プレーヤーとしてこれを推進します。



分野

- ① 太陽光、太陽熱、風力及び水力等を活用して得られるエネルギー
- ② 地盤、泉源、工場及び焼却炉等から生ずる熱等を利用して得られるエネルギー
- ③ 間伐材、剪定枝、建築廃材及び生ごみ等のバイオマスから得られるエネルギー
- ④ 廃食用油、その他食用としない植物資源等を燃料として得られるエネルギー



地域貢献型事業の推進（地域主導の必要性）

- 地域が主体的に事業を所有している計画
- 事業の意思決定は地域に基盤を置く組織によって行われる計画
- 事業で得た利益の過半が社会的・経済的便益として地域に還元される計画

推進のための環境整備

- 京丹後市再生可能エネルギー導入促進会議の設置
- 再生可能エネルギーの導入促進を図るための施策検討及び制度化
- 市が所有する公共施設及び遊休土地に関する活用体系の整理
- 専門家、関係機関等との連携による事業化活動に対するハンズオン支援
- 人材育成と意識喚起及び情報発信 各事業の実施

再生可能エネルギー導入促進会議の設置（事業オーソライズ機能）

H24年度 事業化検討委員会

基本方針の決定／導入促進会議の設置／推進方策等の提言

基本方針展開の主体として設置

導入促進会議（H25年度～） 【導入促進4機能の展開】

「再生可能エネルギー」というテーマを共有し、各々が主体的に取り組める環境を整備

①事業オーソライズ機能

②ハンズオン機能

③制度・支援検討機能

④普及啓発機能

審査 同意

ハンズオン支援
(専門家・有識者チーム)

個別支援策
(立案・提案)

情報開示
調査・検討・学習

【地域主導・地域貢献型事業】
共同事業化検討・事業化

専門家派遣

アドバイス

交付

地域展開

(事業計画)
提案者

賛同

賛同

賛同

...

構想

申請者

市民

再生可能エネルギーの地域展開（テーマ）の共有、ネットワーク化

—京丹後の市民・事業者・地域（個人～事業者 子供～大人）—

京丹後市が環境を整備し、
市民・事業者・地域が活動の主体

狙い

効果の最大化

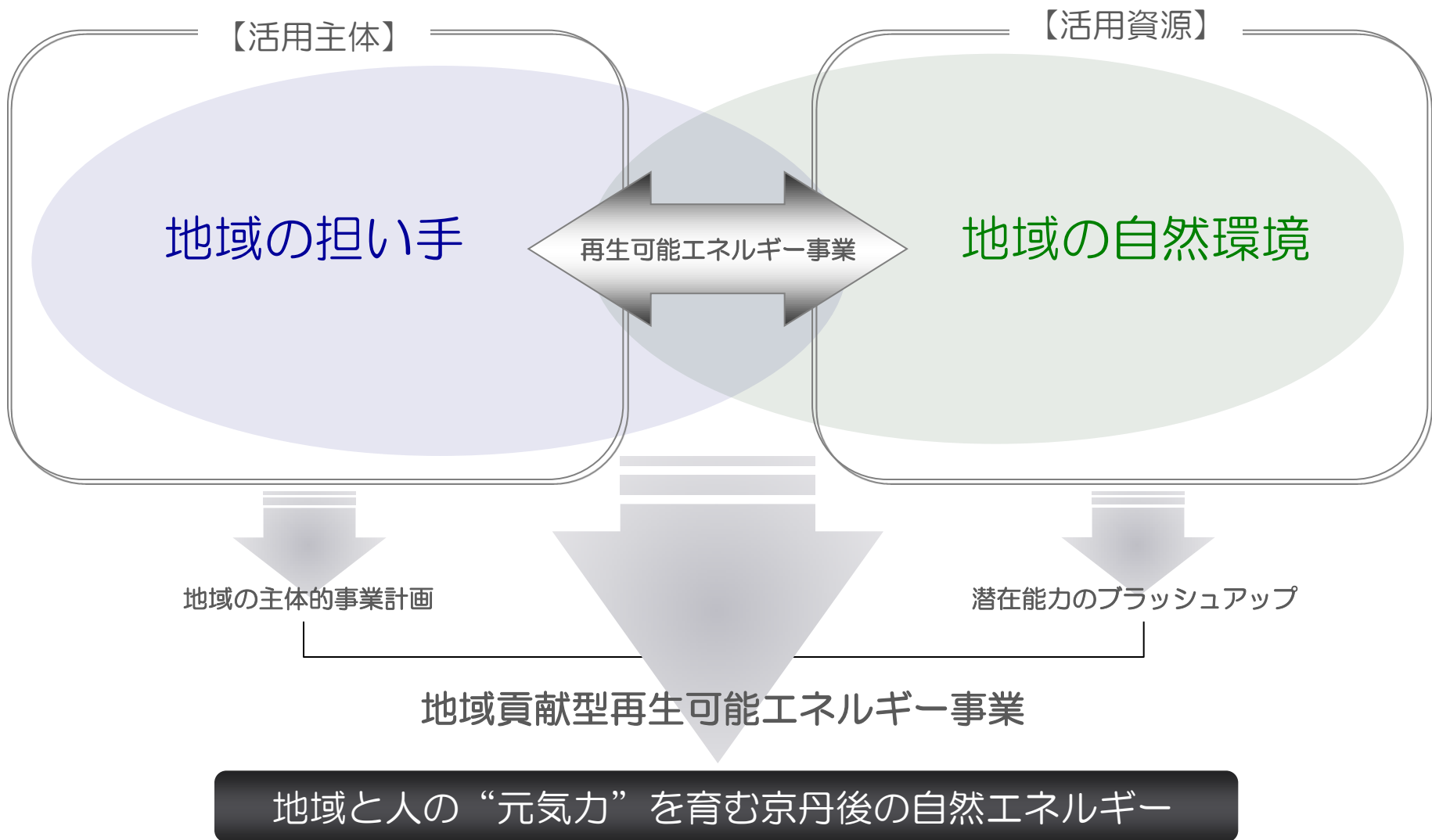
⇒ 宣伝波及効果

地域の主体性確保

⇒ 地域の自立化

意識と事業の定着

⇒ 持続可能性



Human being,Water,Verdure
Kyotango-city 

京丹後市 農林水産環境部 環境バイオマス推進課

TEL:0772-69-0480

FAX:0772-64-5660

MAIL:kankyo@city.kyotango.lg.jp

<http://www.city.kyotango.lg.jp/>